

補習校だより

2017年4月26日発行



陽射しと新緑が目にもまぶしく、花々が美しく咲く季節が巡ってきました。外出するにも暑すぎず、気持ちのいい時期です。そしていよいよ日本語補習校の修了式の日も近づいています。みなさんイランの現地校での学年末テストのため勉強が大変ですが、今年度の総まとめに向けて、発表や校歌などの練習をがんばっていきましょう。

今月(オルディベヘシト月)の予定

第25回目授業 4月27日(木) 通常授業 休み時間:校歌・君が代の練習

第26回目授業 5月4日(木) 通常授業

第27回目授業 5月11日(木) 学習発表会、修了式

今期は5月11日(木)をもって修了といたします。来期は10月5日(木)より開始する予定です。来期に向けて新規入学の見学、申し込みはお早めにtehran.nihongo2@gmail.com まで事前連絡の上、お越し下さい。質問等も同アドレスにて受け付けております。

☆☆☆作品紹介☆☆☆

3・4年生クラス

第3回目『みんなの職業経験談』より
田中美咲さんの介護士経験談を聞いて

【3年 うしこし さゆり】

今日は、かいごしさんにインタビューをしました。かいごしというしごとは、おとし



よりをてだすけするしごとです。きょうのインタビューで、かいごしというしごとをはじめてしました。

たなかさんはデイサービスではたらいていました。デイサービスというのは、おとしよりのようちえんみたいなところだそうです。うたをうたったり、ふうせんであそんだり、おふろにはいったりするそうです。わたしは、かいごしのしごとはたいへんだなとおもいました。

【3年 牛越 さくら】

かいごしは、ヘルパーともいわれていて、かいごしはおとしよりがじぶんでできなくなったことをおてつだいするしごとです。

田中さんは、デイサービスではたらいていました。デイサービスとは、おとしよりがあつまって話をしたり、歌をうたったり、ゲームをしたりとようち園



みたいところです。そしてけんこうチェックをしたり、おふろへ入れたりもします。

日本はおとしよりがふえてきているので、とてもひつようとされるしごとです。

かいごしさんのしごとはとてもたいへんだとおもいました。

5・6年生クラス

《詩》

【5年 鈴木まり】

『さんすう』

もくてきち全部いっしょ。けれど歩く道はちがう。

時にまっすぐ行く。

時に遠まわりをする。

時に道をくねくね行く。

とうとう道はいっしょになる。



中学部

中学部は今期、隔週で授業をしてきました。授業時間などの都合上、修了式での発表はありませんが、学習の成果としてモラディマティン君は大好きなサッカーについての詩を作り、三星茂奈さんはイランの教科書にも載っているシャー・ナーメ（王書）の中の神話を日本語訳しました。

《詩》

【モラディ マティン】

『サッカー』
パスして シュートして
何も考えず ひたすら
ゴール目指して走る
取られたボールを取り返すため
ひたすらボールを追って走る
強いチームが勝つのではない
勝ったチームが強いんだ



《イランの昔話の日本語訳》

【三星 茂奈】

『アーラシェ キャマンギール』

イランとトゥーランの戦争が続いていたある日、トゥーランからある提案がありました。それもイラン人の一人が弓を放ち、その弓の落ちたところが国境に決まると言うのです。この提案は口から口へと広まりました。

人々は、この弓で国が狭くなるかもしれない事が心配でした。そんな中、イランの弓矢の達人、アーラシが立ち上がりました。みんなはダマーヴァンド山の下で見守っていました。

アーラシは一步一步、力強く歩きました。大きな岩の上に立ち自分のいかにも強そうな体を見せて言いました。

「見ての通り私の体は傷一つないし、完璧です。でもきつとこの弓を放った時には私は力つきて、命を落とすでしょう。」

アーラシは神様にも祈りをささげたあと、弓を強く引きました。弓は羽ばたく鳥のように飛びました。言い伝えによると半日も飛んでいたそうです。そして彼も山の上で命を落としていました。弓はジェイフン川の近くにあるくるみの木の下に落ちました。そしてそこが国境に決まりました。



（サーダバード宮殿にあるアーラシ像）

お便り

元補習校生の吉田莉々さんからみなさんへメッセージが届いています。開校当初からの一期生、みなさんの先輩になります。お母様の吉田奈々さんも補習校の立ち上げと、教員としてご尽力いただきました。



テヘラン日本語補習校の皆さん、こんにちは！

私のことを覚えていますか？4、5年ほど前にテヘラン日本語補習校に通っていた吉田莉々です。つい先日、イランのことを調べていたら、日本語補習校のホームページを見つけて、とても興奮しました（笑）あまりの懐かしさに、メールをしてみようと思って、思い出に浸っています。通っていた当時は、池田蒼太くん、鈴木昇一くん、小林彩来ちゃん、奥山詩林ちゃんと同じクラスでした。

日本で高校一年生になった今でも、補習校に通っていたことはとても誇りに思っています。補習校は、私が小学二年生の時にできました。きっと運営していた保護者の皆さまはとても大変だったと思います。しかし、私は毎週木曜日、補習校に通うことがただ楽しみで、新しい友達もたくさんできました。授業はもちろん、授業の合間の休み時間にみんなでふざけあったり、日本人学校の皆さんと交流したり、良い思い出がたくさんあります。

日本に引っ越して早四年。今でもよく補習校を思い出したり、母とその話をしたりします。ホームページを見ると、私が通っている頃よりさらにパワーアップしていて、すごく嬉しい気持ちになりました。学校の勉強との両立が難しかったことや、つらいこともありましたが、今となっては補習校に通っていたことは非常に貴重な経験だったと感じます。補習校で培った国語力は、今でも学習の基礎となって、私の成績を支えています。

いつかまたみんなに会いたいです。高校生になって勉強や部活で忙しくなると思いますが、テヘラン日本語補習校の卒業生として頑張りたいと思います。皆さんも日本語の学習頑張ってください！

吉田莉々



コラム

教員 原 幸子

今期、初めて1, 2年生教員を務めさせていただいています。
元気だけが取り柄の私に、このような大役が出来るのだろうか…不安の一步でした。

1, 2年生のみんなは、とっても活発で音読を始めようとするものなら、我先に読みたい！と手を挙げてくれる子供たちばかりです。

毎週の宿題も、音読に漢字の練習、プリントの宿題をきっちり提出してくれました。

イランの学校の宿題もある中で、時間を作りコツコツ頑張ってくれたのでしょう。低学年という事もあり、保護者の皆様が二人三脚で勉強を手伝ってくれた事が伝わってきました。

私も出来るだけの事をお手伝いしたくて、たまらない気持ちになりました。

『みんなで学びたい』この気持ちが補習校を支えているのですものね。この場所がある限り、何かのかたちで協力していきたいです。

情報

いよいよ補習校もあと少しで、長い夏休みに入ります。今年も一年間国語を勉強したことで、どの子も少しずつ前年より読めること、書けることが確実に増えているはずです。

でも、せっかく身につけたことも練習をしないとすぐ忘れてしまいます。そこで、いくつかお願いがあります。

★ご家庭では楽なペルシャ語ではなく、子供達に出来るだけ日本語を喋るように声を掛けて下さい。

★補習校の図書は夏休みの間、開放していますので、時間のある夏こそぜひ本を読むようにしましょう。

幼児・小中学校向け無料学習サイトを見つけました。夏休み中に各家庭で活用していただければと思います。

ちびむすドリル happylilac.net/

(長谷川可奈子)

編集後記

今期より補習校だよりの編集を担当させてもらっています。今年度に開設した補習校ホームページに掲載したのをきっかけに、今まで補習校に関わってきた方たちとも、また繋がることができ嬉しく思います。これからも、より多くの方にテヘラン日本語補習校の事をお伝えできるよう頑張っていきます。皆様ご協力ありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。
(鈴木淳子)